

## 手拭祭り

予告

～手拭をアートする～

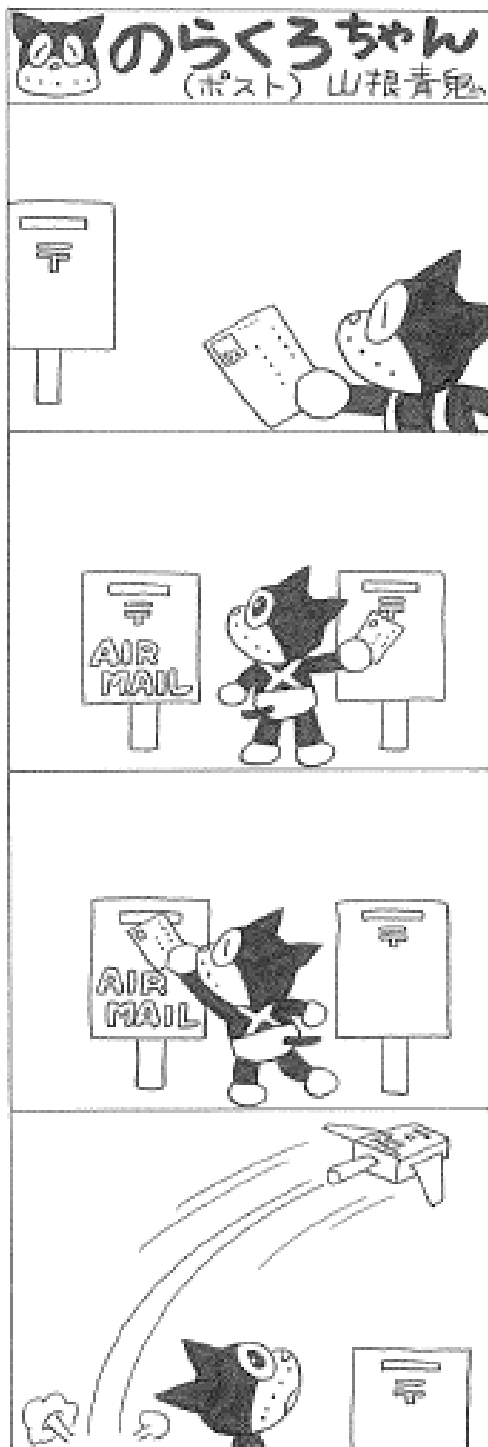
期間：7/25（金）～8/3（日）

会場：森下文化センター ほか

©田河水泡・講談社

日本古来の日用品であり文化でもある手拭。布巾としての利用以外に、装身具として、包装用として、そして祭りでは町内のシンボルマークとして…など、現代でも幅広く活用されています。

このたび、上記の日程で、地元の工芸家とギャラリーが中心となって手拭祭りを開催する予定です。皆様からの手拭作品も募集する予定です。



第31号

## のらくろ便り

'14 4月号

## 素浄瑠璃を観に行こう！

森下文化センター初となる、素浄瑠璃の公演が決定しました。きっかけは文楽三味線の第一人者であり、昨年、紫綬勲章を受章された野澤錦糸氏が東京滞在時にはセンター近くに宿を取っていたこと。氏が育てる若手太夫の発表の場を探されているとのお話から今回の公演に至りました。この機会をお見逃しなく。



三味線 野澤錦糸



太夫 竹本小住大夫

文楽太夫の人間国宝・竹本住大夫の門下、入門五年目の竹本小住大夫が野澤錦糸の胸を借りて、「御所桜堀川夜討 弁慶上使の段」に挑戦します。文楽ファンの方はもちろん、素浄瑠璃初体験の方も、ぜひお越しください。

～素浄瑠璃の会～小住研鑽会 御所桜堀川夜討 弁慶上使の段

5月27日（火）19:00開演（18:30開場）

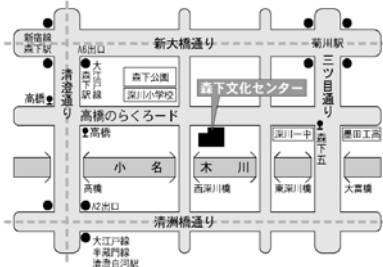
全席自由2,000円 友の会1,800円

森下文化センター 2階 多目的ホール

演目：御所桜堀川夜討 三段目 弁慶上使の段

発売中

平成26年4月15日発行  
 公益財団法人  
 江東区文化コミュニティ財団  
 心にうるおい、地域ににぎわい。  
 Koto City Culture and Community Foundation

江東区森下文化センター  
田河水泡・のらくろ館

〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17

電話 03-5600-8666

F A X 03-5600-8677

H P <http://www.kcf.or.jp/morishita>

【開館時間】午前9時～午後10時

【休館日】第1・3月曜日(祝日の場合は開館)  
年末年始(12/29～1/3)

# 森下で遊ぼう！学ぼう！

## 森下アートスペースでは・・・

### 約4千冊のマンガ・アニメの関連本が読める！

田河水泡『のらくろ』全巻はもちろん、田河水泡の弟子たちの作品、手塚治虫や水木しげる、藤子不二夫などの名作漫画も揃っています。さらに『このマンガがすごい！2014』で上位にランクインした最新の話題作や、大人気の『ONE PIECE』も全巻揃った驚きのラインナップ！お気に入りの作品をじっくりお楽しみください。



**のらくろ館GW特別展**  
**奇蹟コレクション展～少女マンガを中心に**  
 4/28(月)～5/9(金)  
 森下文化センター展示ロビー 入場無料

## 田河水泡・のらくろ館

『のらくろ』の原画や田河水泡愛用の品々を多数展示。さあ、昭和タイムスリップ！窓口ではのらくろ織はがきやTシャツなどグッズの販売も行っています。



## 伊東深水・関根正二紹介展示コーナー



少年時代を共に過ごしたふたりの生涯についてパネル等で紹介しています。現在、伊東深水が母校である深川小学校の開校10周年記念冊子に寄せた直筆原稿と表紙の原画を展示しています。画集、美術の関連書籍や雑誌等も豊富に揃え、ゆっくりと閲覧いただけます。

江東区は、江戸～東京の人々の暮らしを支えてきた職人さんの住む町です。工匠(たくみ)の館では江東区の職人さんと現代に生きる伝統工芸の数々を紹介しています。

## 江戸職人

### 工匠番館

江東区では桶やべっ甲、江戸切子や江戸提灯など、今でもたくさんの職人さんが活動されています。これらの技術は無形文化財として登録されており、工匠番館では保持者の作品の数々を見ることが出来ます。



### 江戸・東京・江東区の関連図書が大量に揃う！

工匠番館内には江戸や東京に関連した豊富な資料を無料で閲覧できるスペースがあります。江東区の歴史や伝統を知るにはもってこいのスペースです。



### 江東区と職人

運命に囲まれた江東区には、江戸時代「海辺大工町」という町があったほど、たくさんの船大工がいました。工匠番館では、江東区の歴史に関わる職人さんたちを紹介、貴重な道具などを展示しています。



### ◆木村裕

深川番所ギャラリー  
 【住所】常盤 1-1-1-2F  
 【電話】03-6666-9862  
 【期間】4/1(火)～26(土) (月火休)  
 【時間】12:00～19:00  
 【定休日】月曜

### ◆土屋 祐子・玉木 直子 二人展

「パーミエーション」  
 SAKURA GALLERY  
 【住所】常盤 2-10-10  
 【電話】03-3642-5590  
 【開催中】4/8(火)～4/20(日)  
 【時間】12:00～19:00  
 (最終日は17:00まで)  
 【定休日】月曜

気になる展覧会が続々開催！  
 ご近所ギャラリーに出かけてみませんか？

### ◆乙女とSweets

～天使か・・・魔女か・・・～  
 アーツ&クラフツギャラリーkapisー  
 【住所】白河 1-2-12-1F  
 【電話】03-5639-2381  
 【期間】4/20(日)～4/26(土)  
 【時間】11:00～19:00  
 【定休日】火曜

### ◆蒼野甘夏 憧憬

Art Gallery  
 Gallery Forgotten Dreams  
 【電話】03-5809-8217  
 【住所】白河 1-3-21 2F  
 【期間】4/5(土)～5/6(火・祝)  
 【時間】12:00～19:00  
 【定休日】月・火曜  
 4/29、5/5、5/6は営業

伝統工芸  
 たくみ  
 工匠番館・式番館

## 森下界限人物伝【番外編】

### 伊東深水と伝統芸能

森下ゆかりの日本画家・伊東深水は美人画の大家として知られています。その絵には鏡獅子「愚痴」「娘道成寺を踊る若妻徳穂」など、歌舞伎や日本舞踊などを題材とした作品なども見られます。

また、伝統芸能との関連から言えば、小唄の世界にも作詞家として大きな足跡を残っていて、深水が作詞した小唄は百とも百五十ともいわれています。

代表作としては「辰巳よしの」常盤津三蔵曲があり、深川生まれの深水が深川を舞台として作詞したこの小唄は小唄のスタンダードナンバーといわれています。



伊東深水

### ◆たぐのまんが

たぐのまんがは、第一回「Gのまんが賞」の審査員として協力いただいています。「たぐのまんが」は「たぐのまんが」など、可愛いキャラクターが魅力のギャグ漫画を描き、人気を博しました。

平成18年からは、国立劇場の歌舞伎鑑賞教室のチーフシヤパンフレットのイラスト、キャラクターを描いています。中でも「黒衣」は、国立劇場のキャラクター「くろいちゃん」として定着し、多くのグッズが販売されています。着ぐるみは、ローラーでの送迎や鑑賞教室の解説役として活躍中です。



くろいちゃん  
 たぐのまんが

### ◆成田美名子「花の巻」の巻頭「白鳥」の巻頭

成田美名子さんは、平成25年1月に講座「永遠の少女マンガ」名物編集長が語る少女マンガ史」の特別ゲストとして登壇いただきました。現在連載中の本作は、「能」がテーマ。能楽界に生きる人々の日常と若手能楽師たちの心の動きなどを描いています。3巻収録の「秘密」では、曾祖父にまつわる謎を解くため、主人公が深川・門前仲町を訪ねるシーンがあり、深川不動近くの町並みが細やかに再現されています。

### ◆おおよろき「ひめ歌舞伎ワンダーランド」

平成25年3月、森下文化センターで初の個展を開催した、おおよろきさん。平成3年発行のこの本では、解説マンガや挿絵を担当しています。おおよろきさんの華麗で緻密な絵柄がふんだんに散りばめられ、歌舞伎の魅力が詰まった、今読み返しても楽しめる本です。

★ ★ ★  
 「紹介したミック・書籍は、全て森下アートスペースで閲覧出来ます。今では入手困難な本ものも、ぜひ、お手に取ってご覧下さい。」